

楽天、松井証券共同出資のオンライン専門商品先物取引会社ドットコムデティ、

商品取引所法、初の認可
グローバリー社オンライン事業の営業譲渡を受ける
9月30日(金)認可

これに合わせて
新たな取引手数料体系を発表
10月17日(月)から適用

ドットコムデティ株式会社

オンライン専門の商品先物取引会社 ドットコムデティ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:車田知之、以下「当社」)が商品先物取引業を営むグローバリー株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:山田保弘、以下「グローバリー」)よりオンライン事業の営業譲渡を受けることについて、本日、主務省である農林水産省及び経済産業省より認可されました。これは、本年5月に改正商品取引所法が施行され、商品取引受託業務の営業譲渡が認可制となってから、初のものとなります。

これに合わせて、新たな手数料体系を発表します。一日の取引枚数により手数料が決まる、現行の「ボックスレート¹⁾」(1~10枚まで税込み3,000円、最安時の1枚あたり片道手数料300円)に加え、一枚ごとの手数料として、「シングルレート」(1枚あたり片道税込み450円)を新たに用意し、取引スタイルにあわせた手数料の選択が可能になります。

1...「ボックスレート」は、松井証券の登録商標です。

【商品取引所法、初の認可】

顧客擁護を目的として大幅な改正が行われた商品取引所法の施行に伴い、商品先物取引業者の営業譲渡行為が認可制になりました。認可に際しては、譲渡を受ける会社の財務状況、商品取引受託業務を適正に行うことについての信頼性などの審査を受けます。この度、当社は、法改正の後、初めての営業譲渡認可を受けた譲受会社となりました。

今回営業譲渡を受けるのはグローバリーのオンライン事業のみであり、対面営業事業の営業譲渡や取引所の会員権の譲渡はありません。また、今回の営業譲渡に伴って社員の受け入れを行うものではありません。

グローバリーのオンライン顧客に対して当社の新たなサービスを提供することによって、煩瑣な口座開設手続きを経ることなく今後もオンラインの商品先物取引を継続して行っていただくことが可能になります。このようにオンライン顧客の便宜を図ることは、オンラインの商品先物取引の普及にも貢献するものと考えられます。また、当社としても、顧客の拡大につながると期待しています。

なお、建玉の移管を希望するオンライン顧客については、別途トランスファーにより、個別に建玉の移管を行っています。

【顧客の意見を反映～新・取引手数料価格体系～】

当社は、一日に取引した枚数の総数によって手数料が決まる「ボックスレート」を採用し、最安時の一枚あたりの片道手数料は税込み300円で、業界最安水準のサービスを提供しています。これについて、一日の取引枚数が少ないお客様から、一枚ごとの手数料体系を希望するご意見があり、一枚ごとの手数料「シングルレート」を新たに設定することにいたしました。

一枚あたりの手数料体系を採用していたグローバリーでのオンライン取引をしていたお客様にも、当社のオンラインサービスを容易にご利用いただけたと考えております。

< 新・取引手数料価格体系 >

【シングルレート】

一枚あたり取引手数料(片道) 450 円(税込)

日計り(デイトレード)時の決済取引は
取引枚数に加算しません

【ボックスレート】

1日の取引枚数	一日あたり手数料 (税込)
1～10枚	3,000円
11～20枚	6,000円
21～30枚	9,000円
31～40枚	12,000円
41～50枚	15,000円
：	：

日計り(デイトレード)時の決済取引は
取引枚数に加算しません
取引枚数は、1日に取引した片道の枚数
51枚以降は、10枚ごとに3,000円(税込)

シングルレート、ボックスレートともに、口座開設後も自由に変更が可能です(変更手続無料、変更には所定の日数が必要)。

当社はこれからも「顧客志向の貫徹」という理念の下、お客様にご満足いただけるサービスを提供し続けてまいります。